

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月28日

上場会社名 日本農産工業株式会社
 コード番号 2051 URL <http://www.nosan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀尾 守
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員業務推進部長 (氏名) 山根 恭一
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

上場取引所 東大

TEL 045-224-3703

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	38,498	—	694	—	937	—	604	—
20年3月期第1四半期	34,945	20.8	1,191	18.2	1,256	22.9	790	34.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	4.98	4.97
20年3月期第1四半期	6.51	6.51

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	64,670	21,878	33.8	179.85		
20年3月期	62,827	22,000	35.0	180.87		

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 21,866百万円 20年3月期 21,990百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	6.50	6.50
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	6.50	6.50

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	78,000	13.9	600	△66.3	750	△59.2	500	△69.6	4.11
通期	165,000	16.2	3,000	67.5	2,800	36.9	1,650	△8.0	13.57

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社(社名) 除外 一社(社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 [(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 [(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 129,309,932株 20年3月期 129,309,932株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 7,726,180株 20年3月期 7,731,935株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 121,580,688株 20年3月期第1四半期 121,456,255株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成20年4月28日発表の連結業績予想は、第2四半期連結累計期間を修正しています。
- 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。上記業績予想の具体的な修正内容は本日別途開示する「平成21年3月期第2四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期におけるわが国経済は、原油や原材料価格の高騰などにより、個人消費の伸び悩みとともに企業収益の改善に足踏みが見られ、景気の先行きに不透明感が増す状況になりました。

飼料・畜産業界においては、畜産飼料の全国流通量は前年同期を上回る状況で推移しています。また畜産物相場は、牛肉相場を除き前年同期と比較し高値で推移しました。

このような状況のもと当社グループは、本年 4 月より中期経営計画「NB Tstep. 2」がスタートしました。前中期経営計画の基本的な考え方を踏襲し、事業展開のスピードアップとより多くの具体的な成果の実現に向けて取り組んでいます。

以上の結果、当第 1 四半期の売上高は384億円（前年同期比 110%）、営業利益は 6 億94百万円（前年同期比 58%）、経常利益は 9 億37百万円（前年同期比 75%）、四半期純利益は 6 億 4 百万円（前年同期比 76%）となりました。

事業別の状況は、以下の通りです。

【飼料事業】

畜産飼料は、販売数量は前年同期に比べ減少しましたが、売上高は販売価格の値上げにより前年同期を上回りました。

収益面においては、配合飼料価格安定基金積立金の積み増し等によるコスト負担増があったことと、原料価格の高騰を製品価格に転嫁しきれなかったために、前年同期を下回りました。

水産飼料においては、タイ用・ブリ用飼料の減少により、販売数量・利益とも前年同期を下回りました。

以上の結果、営業利益は 7 億57百万円となり、前年同期に比べ 3 億85百万円減益となりました。

【食品事業】

「ヨード卵・光」の販売数量は、家庭用がほぼ前年同期並みの数量を確保しましたが、業務用が伸び悩み全体で前年同期を下回りました。

また、鶏卵農場子会社の利益は、鶏卵相場が前年に比べ高値で推移したものの、飼料価格の値上げなどコストの増加があり、前年同期を下回りました。

以上の結果、営業利益は74百万円となり、前年同期に比べ 1 億80百万円減益となりました。

【ライフテック事業】

ペットフードは、子会社ペットラインが前年に引き続き、主力商品「キャネットチップ」の売上が増加したことに加え、キャネットメディファス等リニューアル商品の発売により、売上高、利益とも前年同期を上回りました。

バイオ新分野は、ADME/Tox（薬物動態および毒性試験）分野での受託試験の売上高が前年同期を下回りました。

以上の結果、営業利益は 2 億 8 百万円となり、前年同期に比べ25百万円増益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第 1 四半期末における資産合計は前連結会計年度末に比べ、18 億 42 百万円の増加となりました。これは主として受取手形及び売掛金の増加 8 億 40 百万円、たな卸資産の増加 6 億 13 百万円等によるものです。

(負債)

当第 1 四半期末における負債合計は前連結会計年度末に比べ、19 億 64 百万円の増加となりました。これは主として支払手形及び買掛金の増加 7 億 62 百万円等によるものです。

(純資産)

当第 1 四半期末における純資産合計は前連結会計年度末に比べ、1 億 21 百万円の減少となりました。これは主として当四半期純利益 6 億 4 百万円、その他有価証券評価差額金の増加 76 百万円、配当金の支払 7 億 90 百万円等によるものです。

(連結キャッシュ・フローについて)

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は 28 億 62 百万円となりました。これは主として売上債権の増加 8 億 40 百万円、たな卸資産の増加 6 億 30 百万円、仕入債務の増加 7 億 62 百万円、法人税等の支払額 6 億 98 百万円等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果得られた資金は 1 億 11 百万円となりました。これは主として固定資産の取得による支出 1 億 14 百万円、長期貸付金の回収による収入 3 億 12 百万円等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は 27 億 40 百万円となりました。これは主として配当金の支払額 6 億円、借入金の増加 33 億 98 百万円等によるものです。

これらの結果、現金及び現金同等物の第 1 四半期末残高は 4 億 74 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 10 百万円の減少となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想については、本日別途開示する「平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

重要性が乏しい連結会社においては税金費用の計算にあたり、税引前四半期純利益に前連結会計年度の税効果適用後の法人税等の負担率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しています。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第 12 号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 14 号）を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成 18 年 7 月 5 日 企業会計基準第 9 号）を当第 1 四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しています。この変更に伴う損益に与える影響は軽微です。

③「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成 5 年 6 月 17 日 最終改正平成 19 年 3 月 30 日 企業会計基準第 13 号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成 6 年 1 月 18 日 最終改正平成 19 年 3 月 30 日 企業会計基準適用指針第 16 号）を当第 1 四半期連結会計期間から早期に適用しています。この変更に伴う影響は軽微です。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成20年 6 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	474	484
受取手形及び売掛金	26,113	25,272
商品及び製品	2,303	2,069
仕掛品	1,868	1,842
原材料及び貯蔵品	5,555	5,209
その他	4,042	3,622
貸倒引当金	△ 162	△ 150
流動資産合計	40,195	38,351
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,268	7,394
機械装置及び運搬具	4,523	4,728
土地	3,589	3,594
その他	515	532
有形固定資産合計	15,898	16,249
無形固定資産	517	550
投資その他の資産		
投資有価証券	5,891	5,634
その他	2,546	2,421
貸倒引当金	△ 378	△ 379
投資その他の資産合計	8,059	7,676
固定資産合計	24,474	24,476
資産合計	64,670	62,827

(単位：百万円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成20年 6 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年 3 月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,785	18,022
短期借入金	13,109	9,379
未払法人税等	286	750
その他	4,499	6,332
流動負債合計	36,681	34,486
固定負債		
長期借入金	5,118	5,449
退職給付引当金	305	297
その他	686	593
固定負債合計	6,110	6,341
負債合計	42,791	40,827
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,411	7,411
資本剰余金	2,768	2,767
利益剰余金	12,997	13,183
自己株式	△ 1,657	△ 1,658
株主資本合計	21,519	21,703
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	372	296
為替換算調整勘定	△ 25	△ 9
評価・換算差額等合計	346	286
新株予約権	12	10
純資産合計	21,878	22,000
負債純資産合計	64,670	62,827

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日)
売上高	38,498
売上原価	34,114
売上総利益	4,384
販売費及び一般管理費	3,690
営業利益	694
営業外収益	
受取利息	5
受取配当金	29
持分法による投資利益	232
その他	50
営業外収益合計	318
営業外費用	
支払利息	57
その他	17
営業外費用合計	74
経常利益	937
特別利益	
固定資産売却益	27
特別利益合計	27
特別損失	
固定資産売却損	0
固定資産除却損	4
投資有価証券売却損	21
特別損失合計	26
税金等調整前四半期純利益	939
法人税等	328
少数株主利益	5
四半期純利益	604

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	939
減価償却費	500
長期前払費用償却額	28
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	10
未払賞与の増減額 (△は減少)	17
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7
受取利息及び受取配当金	△ 35
支払利息	57
持分法による投資損益 (△は益)	△ 232
固定資産売却損益 (△は益)	△ 25
固定資産除却損	6
投資有価証券売却損益 (△は益)	21
売上債権の増減額 (△は増加)	△ 840
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△ 630
仕入債務の増減額 (△は減少)	762
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△ 768
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△ 2,140
未払消費税等の増減額 (△は減少)	57
その他	99
小計	△ 2,163
法人税等の支払額	△ 698
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,862
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
利息及び配当金の受取額	35
固定資産の取得による支出	△ 114
固定資産の売却による収入	39
投資有価証券の取得による支出	△ 58
投資有価証券の売却による収入	25
短期貸付金の増減額 (△は増加)	37
長期貸付けによる支出	△ 1
長期貸付金の回収による収入	312
その他の支出	△ 180
その他の収入	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	111
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,730
長期借入れによる収入	200
長期借入金の返済による支出	△ 531
自己株式の取得による支出	△ 0
自己株式の処分による収入	1
配当金の支払額	△ 600
利息の支払額	△ 58
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,740
IV 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 10
V 現金及び現金同等物の期首残高	484
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	474

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日)

(単位:百万円)

	飼料事業	食料事業	ライフテック事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	31,389	3,779	3,329	38,498	—	38,498
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	509	3	507	1,020	(1,020)	—
計	31,898	3,783	3,837	39,519	(1,020)	38,498
営業費用	31,140	3,708	3,629	38,478	(674)	37,804
営業利益	757	74	208	1,040	(346)	694

(注)1. 事業区分の方法

事業区分は、製品の種類・性質及び市場の類似性を考慮して区分しています。

2. 各事業の主な製品及び事業内容

- (1) 飼料事業・・・鶏用飼料、豚用飼料、牛用飼料及び魚用飼料
- (2) 食品事業・・・ヨード卵、ヨード卵関連商品、鶏卵
- (3) ライフテック事業・・・ペットフード、馬用飼料、実験動物及び実験動物用飼料、バイオ関連商品

【所在地別セグメント情報】

当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店が無いため、記載していません。

【海外売上高】

当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日)

海外売上高は、連結売上高の 10%未満のため、その記載を省略しました。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【参考資料】

前第 1 四半期に係る財務諸表等

(1) 四半期連結 (要約) 損益計算書

(単位：百万円)

摘 要		前年同四半期 (平成 20 年 3 月期第 1 四半期)
I	売上高	34,945
II	売上原価 (売上総利益)	30,207 (4,737)
III	販売費及び一般管理費	3,546
営業利益		1,191
IV	営業外収益	191
	受取利息及び配当金	53
	その他	137
V	営業外費用	125
	支払利息	63
	その他	62
経常利益		1,256
VI	特別利益	96
	固定資産売却益	8
	その他	88
VII	特別損失	9
	固定資産売却却損	9
税金等調整前第 1 四半期純利益		1,343
法人税、住民税及び事業税		546
少数株主利益		5
第 1 四半期純利益		790

(2) 四半期連結 (要約) キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

項 目	前年同四半期 (平成20年 3 月期 第 1 四半期)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1. 税金等調整前第 1 四半期純利益	1,343
2. 税引前利益の調整	
減価償却費	530
引当金の増減(△)額	△ 105
その他の増減(△)額	△ 130
3. 資産及び負債の増減	
売上債権の増(△)減額	△ 1,961
棚卸資産の増(△)減額	△ 627
その他の流動資産の増(△)減額	△ 694
仕入債務の増減(△)額	271
その他の流動負債の増減(△)額	△ 16
4. 法人税等の支払額	△ 666
合 計	△ 2,058
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1. 固定資産の取得による支出	△ 178
2. 固定資産の売却による収入	13
3. 投資有価証券等の増(△)減	33
4. 貸付金の増(△)減	227
5. その他投資等の増(△)減	△ 78
合 計	18
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1. 短期借入金の増減(△)額	3,140
2. 長期借入金の返済による支出	△ 590
3. 配当金の支払額	△ 509
4. 自己株式の取得による支出	△ 0
5. 自己株式の処分による収入	23
6. その他の増減(△)額	△ 63
合 計	1,998
IV 現金及び現金同等物の増減額	△ 41
V 現金及び現金同等物の期首残高	528
VI 現金及び現金同等物の第 1 四半期末残高	486

(3) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 6 月 30 日)

(単位: 百万円)

	飼料事業	食品事業	ライフテック事業	計	消去又は全社	連結
売上高	28,777	3,784	3,285	35,847	(902)	34,945
営業費用	27,634	3,529	3,102	34,266	(512)	33,754
営業利益	1,142	254	183	1,580	(389)	1,191

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、製品の種類・性質及び市場の類似性を考慮して区分しています。

2. 各事業の主な製品及び事業内容

(1) 飼料事業・・・鶏用飼料、豚用飼料、牛用飼料及び魚用飼料

(2) 食品事業・・・ヨード卵、ヨード卵関連商品、鶏卵

(3) ライフテック事業・・・ペットフード、馬用飼料、実験動物及び実験動物用飼料、バイオ関連商品

【所在地別セグメント情報】

前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 6 月 30 日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店が無いいため、記載していません。

【海外売上高】

前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 6 月 30 日)

海外売上高は、連結売上高の 10%未満のため、その記載を省略しました。